

授業の概要 / Course description

科目基礎情報 / Course information

開講元学部 / Faculty	外国語学部 / FACULTY OF FOREIGN STUDIES
開講元学科 / Department	
登録コード / Registration Code	FES64510
期間 / Period	2023年度 / Academic Year 秋学期 / AUTUMN
学期 / Semester	秋学期 / AUTUMN
曜限 / Period	水 / Wed 4
教室 / Classroom	水4 :
科目名 / Course title	北米地域研究入門B-2 / INTRO. TO AMERICAN STUDIESB-2
授業形態 / Course Type	講義 / Lecture
科目ナンバリング / Course Numbering	ANA203-50J00
レベル / Level	200
教員表示名	小塩 和人
主担当教員名 / Instructor	小塩 和人 / OSHIO KAZUTO
単位数 / Credits	2
更新日 / Date of renewal	2023/02/05

講義概要情報 / Course description

授業実施方法 / Class format	対面授業 / Face-to-face classes only
授業実施方法に係る追加情報 / Additional information concerning the class format	PC持参を必要とする授業回がある。
キーワード / Keywords	ANA HST GEO CUI ENV TCP
科目サブタイトル / Subtitle of this course	北米地域研究の基礎を学ぶ
アクティブ・ラーニングの実施 / Active Learning	あり / Yes
授業の概要 / Course description	<p>歴史学や化学といった人文系のアプローチをとった北米地域研究B-1に対して、この授業では、自然科学的な視座を含め、カナダとアメリカ合衆国における諸問題の背景を探ります。各回に一つのテーマを取り上げ、一学期を通して北米地域を研究する一方法を獲得します。取り上げるテーマは自然・地理・環境にわたり、最後は米加比較を試みます。具体的には、15世紀から21世紀までを扱うテキスト（図表を含む英文見開き2頁）をもとに、背景説明を行う講義に加え、毎回5～6点のキーワードに関する学生のグループプレゼンテーション（5分程度）も予定しています。英語学科開講の北米コース基礎科目として、初級レベルに相当する基礎知識を提供します。</p> <p>この授業は、英語教員を目指す学生を対象とした科目としての役割も担います。英語圏をなす米加両国の成り立ちを、人文社会科学的な接近方法を用いて考察します。授業ではeラーニングのプラットフォームであるムードルを使うので、履修者はICTを駆使した教授法も会得します。さらに、映像のみならず音声・語彙・表現や文法に関する基本的な知識や技能を統合した言語活動を実践することができます。発表やコメントなどのグループワークでは、英語コミュニケーションに不可欠な資質を高める指導力を身に付ける事も可能です。また、異文化感コミュニケーション能力を培うために、交換留学生など様々な文化的背景をもった人々と対面で、あるいはインターネット上でやり取りすることも考えられます。</p>
ディプロマ・ポリシー（DP）との関連（対応するポリシーは、科目開講元のポリシーである。借入れ科目の場合は、カリキュラムマップを参照のこと） / Correspondence to Diploma Policy of the offering Faculty and Department (Students who belong to other faculties and departments, check Curriculum Map of your faculty and department)	
到達目標（授業の目標） / Course objectives	この授業では、北米地域研究入門B-1で取り上げた人間社会と自然環境との関係性についてさらに掘り下げ、北米大陸の自然、地理、環境をより詳しく学ぶことを目標にします。とくに地理学（人文・社会・自然）、環境学、人類学的な接近方法に親しむことを通じて、北米地域に関する教養を身につけ、当該地域の状況をグローバルな文脈の中に置いて、異文化理解の一助とすることを目指します。具体的には、英語で書かれた学術テキストを使い、授業前に予め読み、その要約を書き、授業中はその内容理解に基づいて、予め提供された設問に基づくグループワークを実践し、中間の整理も行った上で、学期末に向けて英語小論文を書くこととなります。

	<p>1) 北米コースの分野における基礎知識を修得する。</p> <p>2) 北米地域における人間社会と自然環境に関する知識を、その多様性理解に応用することができるようにする。</p> <p>3) カナダとアメリカ合衆国との比較ならびに歴史の変容の過程と諸要因を、論理的に記述し、的確に発表し、討議が行えるようにする。</p> <p>4) 日本語と英語の両方を用いて、基本的な情報のインプット・プロセス・アウトプットができるようにする。</p>
授業時間外（予習・復習等）の学習 /Expected work outside of class	<p>1) 毎回の授業で議論の対象となる英語論文を読んで、200語程度の英文に要約し、授業開始前までにムードルへアップロードすることが期待されま す。予習時間としては、英語運用力や知識量によって幅がありますが、1時間程度が予想されます。</p> <p>2) 授業内プレゼンテーションを担当する場合、その準備や資料作成の時間として、2時間程度が予想されます。</p> <p>3) 授業内での積極的な情報交換、学期末の小論文執筆のために、予習・復習の時間を毎回の授業時間と同じ程度に必要になります。</p>
授業1回あたりの授業時間外（予 習・復習等）の学習時間 /Length of time for work expected outside per class	授業の予習・復習たとえば教材の読解、事前課題、ネット検索、グループ作業などを含んで190分
他学部・他研究科受講可否 /Other departments' students	可/Yes ※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。 Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.
評価基準・割合 /Evaluation	その他/Others(in detail) (100.0%) : 授業前課題要約30%、プレゼン&リアクションペーパー（中間整理を含む）30%、期末整理（オ ープンブック形式）20%、小論文（作成要領の形式・様式に従って作成します）20%。なお、欠席は4回すると単位の取得ができないのでご留意 ください。
テキスト（教科書）/Textbook	自由記述/Free Text : Char Miller, ed. The Atlas of U.S. and Canadian Environmental History. New York: Routledge, 2003
参考書/Readings	自由記述/Free Text : 小塩和人『アメリカ環境史』上智大学出版、2014年
授業で使用する言語（日本語以 外） /Required languages (other than Japanese)	英語

講義スケジュール/Schedule

授業計画/Class schedule	1.Course Introduction
	2.Early American and Canadian Forests
	3.Plantation Economy and Labor in the US South
	4.The Fur Trade
	5.Harvesting the Pacific Northwest Forests
	6.The Impact of Civil War
	7.Mid-Term Summary (1) How and Why North American Peoples and Environment changed over time?
	8.The US Conservation Movement
	9.Game Management
	10.The Atom Bomb and Nuclear Power
	11.The Emergence of US Environmental Movement
	12.Mid-Term Summary (2) How and Why North American Peoples and Environment changed over time?
	13.Final Summary ID & Essay Questions "Comparing Canada and the US cases, discuss similarities and differences between the two"
	14.Paper Due: Discuss similarities and differences between Canada and the US by referring to the following items: "Anti- Environmentalism" "Environmental Justice" "Eco-Radicalism" "Corporate Greenwashing"
課題等に対するフィードバック方 法 /Mediums for feedback to students	口頭で行う/verbally